

携帯電話の中古市場が成長している。不要になった端末を買い取り店頭で販売するビジネスで、チケットショップや各種販売店からの参入も相次ぐ。多様な機種を取りそろえ、価格の安さも支持を得ている。法制度の未整備な市場だけに課題はあるが、リサイクル(再循環)を通じた環境保護にもつながる。今後はNTTドコモなど大手携帯各社との協調体制を築くことができるかどうか、成長の鍵を握る。(連水洋一)



携帯電話

成長する中古市場



安価で多機種の中古携帯が気軽に選べる一大阪市東淀川区の日本テレホン上新庄店

中古携帯電話は、平成19年から携帯電話の販売方式が変更されたことにより注目されだした。従来は実質0円や1円といった携帯端末が店頭に並んだが、NTTドコモや「au」ブランドのKDDIなど携帯大手から代理店に支払う販売奨励金が問題視され、通信料を支くする代わり

に端末の本体価格を分割支払いで負担する割賦制に移行したため、端末価格は平均2万円程度アップした。これに対し、長引く不況の影響もあって価格に敏感な消費者は安価に機種変更ができて中古市場に注目。インターネット専門業者やリサイクルショップ、古書店などが不要な端末を買い取り、個人情報などを消去したうえでグリーンリサイクルショップ販売を始めた。

多様な機種、安い価格

「au」ブランドのKDDIなど携帯大手から代理店に支払う販売奨励金が問題視され、通信料を支くする代わり

提供するなどし、環境保護にも貢献したい」と(堀田憲昭専務取締役)。

から一部の販売店に問い合わせなどが続いた。多くの中古携帯を扱う販売店の「eiy A.A.A.(エイヤー)」(大阪市港区)には2月以降から80件前後の苦情が寄せられ、内容を「返金や商品交換により返金や商品交換」(関西支社広報)に「安心、安全な中古市場を構築するために、事業者と一体取りを中止していかない」となった密接な情報交換が必要。不正防止を強化するため「ローン回収はソフトバンクモバイル側と最初の契約者との問題。中古携帯を安心して買ってもらうための」(堀田専務)と話す。

また、窃盗団による盗品の流通なども懸念材料だ。こうした問題に対しNTTドコモは「盗難による不正携帯については、近いうちに通信規制を行う予定」(関西支社広報)と、日本テレホンは「安心、安全な中古市場を構築するために、事業者と一体取りを中止していかない」となった密接な情報交換が必要。不正防止を強化するため「ローン回収はソフトバンクモバイル側と最初の契約者との問題。中古携帯を安心して買ってもらうための」(堀田専務)と話す。

細の一角に端末コーナーを開設。古物営業法に基づいて、使用年数やキズ具合などを考慮して買い取り、月間1500円前後を販売している。「顧客の年齢層は幅広く機種の流行に敏感。2台目を購入する人も増えている」(木許志郎店長)という。有望市場として、今後は店舗網を通じて多くの端末を買い集め事業拡大を図る方針だ。

情報通信サービス業、日本テレホン(大阪市)では買い取りは1000円、販売は3000円から扱っているが、中古の携帯端末販売はまだ事業全体の約10%程度。「中古パソコンやゲームなどを扱った経験を生かし、国民の1億人以上が所持する携帯電話のリサイクルに着目した。一部の使用済み端末は再資源化に

モバイルが一部の中古端末に限り通話規制をした。割賦販売された携帯端末価格のローンを滞納や、代理店から盗まれた端末などが対象だ。同社の中古携帯を知らずに購入し通話規制を受けた顧客側には必要な経費相当分を損

きない」(広報担当)として、ソフトバンクモバイルは「比較的新しく注目は開始した中古市場の規模は調査していないが、今後注視していきたい」との考えだ。

携帯各社との協調必要

「安心、安全な中古市場を構築するために、事業者と一体取りを中止していかない」となった密接な情報交換が必要。不正防止を強化するため「ローン回収はソフトバンクモバイル側と最初の契約者との問題。中古携帯を安心して買ってもらうための」(堀田専務)と話す。